

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年01月06日

計画の名称	日進市のスマートインターチェンジ及び周辺道路の整備												
計画の期間	令和02年度～令和06年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	日進市												
計画の目標	<p>本計画は、第一東海自動車道（東名高速道路）の東郷PAにスマートインターチェンジ（スマートIC）の進入路等を整備するものである。</p> <p>日進市内には東名高速道路への出入口が存在せず、高速道路へのアクセス性向上等が求められている状況である。</p> <p>スマートICの整備により、市民の利便性の向上、周辺道路の渋滞緩和はもとより、企業活動の活性化、観光の振興、大規模災害への対応強化等が期待できるものである。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,174	A	1,174	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R7末)
1	高速道路へのアクセス性向上 スマートIC周辺企業から東名三好ICまでのアクセス時間を計測（機織池周辺地区）（平日朝7時台）	20分	分	14分
2	高速道路へのアクセス性向上 スマートIC周辺企業から東名三好ICまでのアクセス時間を計測（日進研究開発団地）（平日朝7時台）	12分	分	6分
3	観光の振興 市内観光（観光施設、まつり）の来場者数を集計	46万人	万人	111万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	道路	一般	日進市	直接	日進市	市町村	改築	市道スマートインター1号線他1路線	ICアクセス(0次、一次)L=0.6km	日進市	■	■	■	■		421	1.6	未策定	
	A01-002	道路	一般	日進市	直接	日進市	市町村	改築	市道南山黒笹線他8路線	道路付替等 L=1.2km	日進市	■	■	■	■	■	753	1.6	未策定	
											小計						1,174			
											合計						1,174			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	0	0	0	1	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	0	0	0	1	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	
支払済額 (e)	0	0	0	1	
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

計画の対象	日進市のスマートインターチェンジ及び周辺道路の整備		
計画の期間	令和2年度～令和6年度	交付対象	日進市



事前評価チェックシート

計画の名称： 日進市のスマートインターチェンジ及び周辺道路の整備

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	
I. 目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

